

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 5年 2月 24日(金)

その3 通算310号

◇ 長期間の借用に、感謝いたします



図工室にある1枚の児童の写生画。
正しく言えば、「図工室にある」ではなく、「図工室で発見された」と言った方がよいだろう。

裏面には応募票が貼付してある。
代表作品として出品されたことは間違いなし。その後は校内掲示作品等として利用され、児童に返却されずに学校で保管されていたようだ。

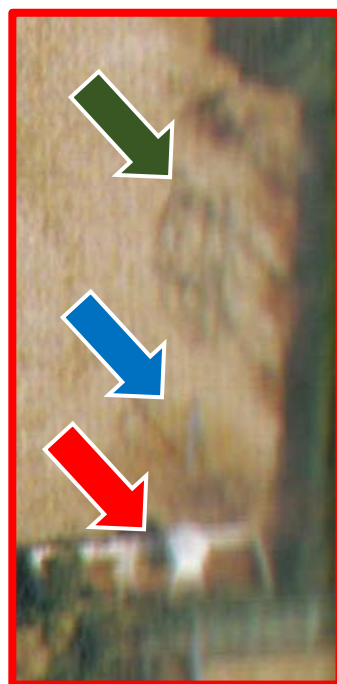
応募票に記載されている作品タイトルには、「遊び場」とある。

緑➡は【雲梯：うんてい】に間違いなし。よって、写生会(現在も行われている学校は少ない)等で描かれた校内の遊具近辺だと思われる。雲梯の塗装色は、絵にある緑色ではなくクリーム色だ。青➡の遊具は撤去されてしまった【回旋塔】だろう。赤➡の白柵なるものは、現在、遊具が設置されている近辺には見当たらない。

こうなると興味津々。移転5年(1991)の航空写真で調査開始。
分かりにくいいため、赤枠部分を拡大すると、ご覧のとおり。



- 緑➡：雲梯
- 青➡：回旋塔
- 赤➡：白柵
- ※百葉箱保護柵



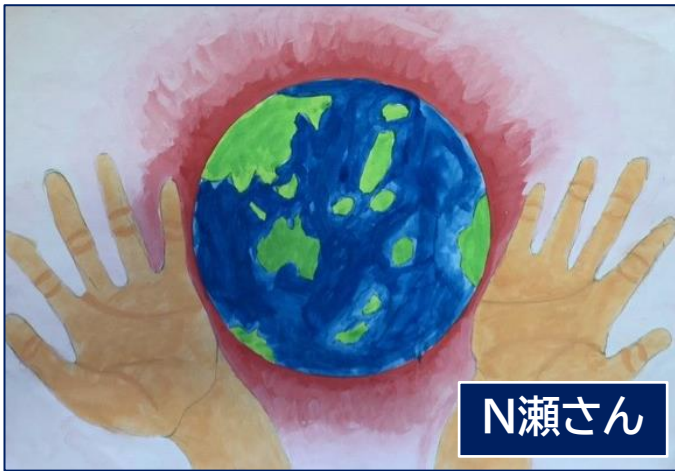
ここだ。間違いなし。

1991年と言えば、今から30年以上前。「トキワヒガシ」の植栽文字もなく、アメリカフウは幼木。当時の写生画だ。

絵を描いた児童の名前は「青山高視^{たかし}」さんとある。高視さんは、社教委委員長の青山勇さんのご子息で、現在はアフリカ・ナイロビ日本人学校で教鞭^{きょうべん}を執^とられている。写生画については、勇さんを通じて高視先生にご返却の予定である。

「長らくの借用、ありがとうございました」

他にも続々とお宝発見（※以下参照）。作品は全て当時のものだ。発見したのは教頭先生^{おおてがら}。図工室の倉庫整理をしているときに発見したものだ。教頭先生、大手柄。



N瀬さん



O山さん



Y本さん



H川さん



K長さん



K柳さん

皆様には、折をみてご返却致します。「長らくの借用、ありがとうございました」